

2008年2月12日

三井化学株式会社

三井化学ファブロ(株)による再生樹脂使用比率の乖離について（お詫び）

このたび、当社の100%子会社・三井化学ファブロ(株)が、同社製品の「エコハッポート」について、お客様が最終製品で取得しているエコマーク認定及びグリーン購入法の基準を満たすことができない原料構成で、生産・販売していたことが判明し、同社は2月8日付けでその旨公表いたしました。（公表文は別紙ご参照）

お客様、消費者の皆様をはじめ関係の方々に多大なご迷惑をおかけしましたこと、また、環境保護制度に対する信頼を損ねたことについて、親会社として深くお詫び申し上げます。

当社は、現在、同様の事例が他にないか、グループ内で調査中であり、結果が判明次第、速やかに公表いたします。

また、今後二度とこのようなことが起こらぬよう、関係会社を含めた内部監査を再度徹底するとともに、社員のコンプライアンス教育の徹底を改めて図ってまいります。

以上

本件に対するお問い合わせ先

三井化学株式会社 CSR・広報部 03-6253-2100

2008年2月8日

三井化学ファブロ株式会社

当社製品の再生樹脂使用比率について

このたび、当社が製造・販売しております「エコハッポート*」について、当社のお客様（2社）が最終製品で取得しているエコマーク認定〔再生品使用率70%以上〕及びグリーン購入法〔同40%以上〕を満たすことができない原料構成で生産・販売していたことが判明致しました。お客様、消費者の皆さまをはじめ関係者の方々に多大なご迷惑をおかけいたしましたことを、ここに深くお詫び申し上げます。

*エコハッポート：ポリプロピレンに発泡剤を添加し成形したシート状でお客様に納入し、事務用ファイルの表紙等文具用途に用いられています。

エコハッポートの生産・納入数量及び、再生樹脂使用比率については、別紙の通りです。

このような事態を招いたのは、表面の平滑性や色調など品質の維持のご要望に応じていく過程で、これを優先するあまり、基準遵守の意識が稀薄になり、再生樹脂比率を極端に低下させてしまいました。加えて、再生品ではない通常の樹脂を使用することで、「より高い品質の製品を供給している」との甘い認識の下、コンプライアンス、特に環境への社会的重要性について認識が不足していたためでもあります。

この事態を受けて、当社は、お客様に対してお詫びするとともに、本製品の出荷を停止致しました。また、当社の他の製品で同様の事態がないか、徹底した調査を行っております。

今後は、このような事態が二度と起こらぬよう、社長をトップとする対策本部を設置し、内部統制体制の見直しと整備、全社員に対するコンプライアンス教育の徹底に取り組み、皆さまのご理解をいただけるよう、あらためて努力して参ります。

以上

本件に関するお問い合わせ先

三井化学ファブロ株式会社 総務部長 水津博 03-5213-3200

エコハット生産実績及び再生樹脂使用比率

顧客への納入時期：1999年10月～2008年1月

(単位：トン)

	70～100%	40～69%	1～39%	0%	合計
99年度	51				51
00年度	18	3	13		34
01年度			58	11	69
02年度				27	27
03年度				40	40
04年度				44	44
05年度				37	37
06年度	2	1	5	34	42
07年度		2		29	31
合計	71	6	76	222	375

※お客様にはトータルで362トン納入しており、残りの約13トンは出荷せずに在庫として保管。

※顧客製品の環境認証内容：エコマーク認定70%以上

グリーン購入法40%以上

三井化学ファブロ 会社概要

社名 三井化学ファブロ株式会社
設立 1972年9月25日
資本金 4億円
株主 三井化学株式会社 100%
従業員数 260名
売上高 207億円(2006年度)
社長 古川 学

沿革

1972年 ハイシート工業設立、パッキング事業開始
1978年 自動車内装材事業開始
1980年 トネル止水シート事業開始
1988年 EVA架橋シート事業開始
2000年 パッキング事業の製造技術転換
2002年 ISO9001取得
2005年 三井化学プラテック(生活資材、発泡シート、表面保護材、MOフィルム事業展開)と合併し三井化学ファブロを設立
2006年 ISO14001取得
EVA架橋シート製造設備増強(2工場体制構築)
トンネル止水シート事業撤退

事業内容

生活資材 食品小分包材、日用雑貨
機能シート パッキング材、農業資材、物流資材、建材、自動車内装材
機能フィルム 包材、表面保護材
ソーラーエバ 太陽電池パネル封止材
その他